

いしかりの財政状況

市では、6月と12月に予算および決算の状況をお知らせしています。

今回は、平成26年度の決算の内容および健全化判断比率と、平成27年度予算の上半期執行状況についてお知らせします。

※金額は概数としています

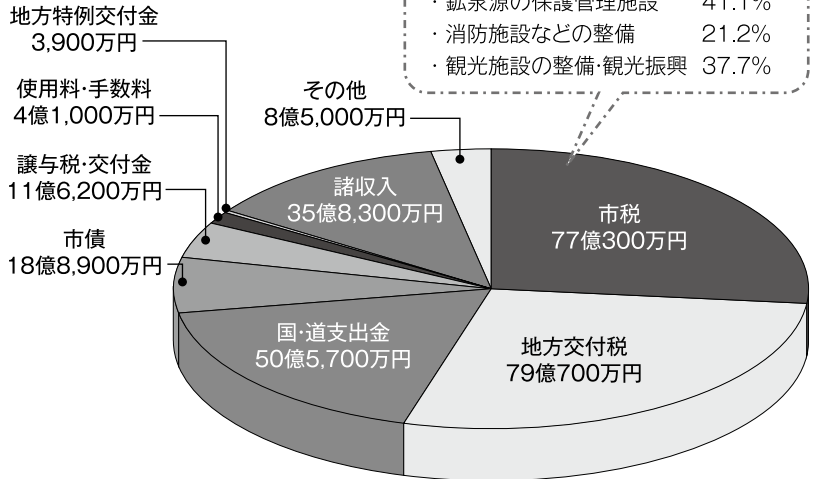
平成26年度 一般会計の決算

歳入総額 286億円

※前年度311億6,600万円(対前年比 8.2%減少)

Point

- **市 税** 前年度比1億4,900万円増加↑
石狩湾新港地域における企業の設備投資の増加などに伴う固定資産税の増加によるものです。
- **地方交付税** 前年度比1億7,100万円減少↓
消費税率引き上げが交付税の算定方法に影響したことなどによって減少しました。
- **諸 収 入** 前年度比12億7,200万円減少↓
志美用地処分に伴う土地開発公社貸付金償還金の減少によるものです。



都市計画税(5億9,800万円)の充当先

・公債費 100.0%(街路、公園、下水道)

入湯税(500万円)の充当先

・鉱泉源の保護管理施設 41.1%

・消防施設などの整備 21.2%

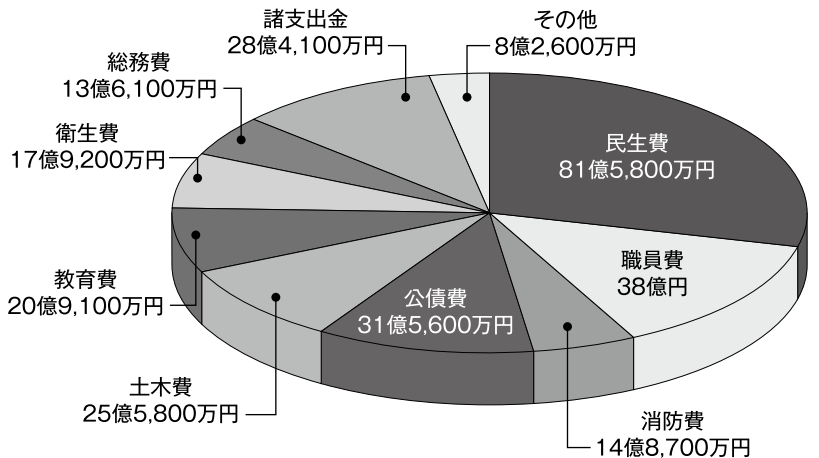
・観光施設の整備・観光振興 37.7%

歳出総額 280億7,000万円

※前年度306億6,100万円(対前年比 8.5%減少)

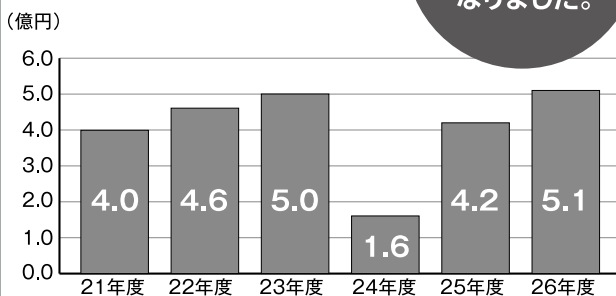
Point

- **民生費** 前年度比4億1,700万円増加↑
臨時福祉給付金等給付事業や障がい者自立支援事業、国民健康保険事業特別会計繰出金などの増加によるものです。
- **総務費** 前年度比1億3,600万円増加↑
「マイナンバー制度」などの増加によるものです。
- **消 防 費** 前年度比18億800万円減少↓
石狩北部地区消防事務組合負担金などの減少によるものです。
- **諸 支 出 金** 前年度比13億4,600万円減少↓
土地開発公社貸付金の減少によるものです。



各年度の実質的な収支

平成26年度の
実質収支は
5億500万円と
なりました。



※各年度で、翌年度への繰越分を控除しています

(平成26年度から平成27年度への繰越額は約2,500万円)

性質別に見た歳出

支出が制度的に義務付けられている義務的経費では、退職手当組合負担金の減などにより人件費は減少しましたが、臨時福祉給付金や障がい者自立支援事業などにより扶助費が増加したため、前年に比べ約1億6,500万円増加しました。

また、普通建設事業など固定的な資本形成のために支出される投資的経費では、新たに花川南小学校大規模改修事業を行った一方、平成25年度に行った防災ひろばと放課後児童会樽川スマイルクラブの整備事業完了により、前年に比べ約12億1,700万円減少しました。

毎年の決算を分かりやすく紹介した「石狩市の財政」もホームページでご覧いただけます。

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/zaisei/3053.html>



平成26年度 特別会計の決算

特別会計区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険	80億6,400万円	86億9,200万円	△6億2,800万円
国民健康保険診療所	1億3,800万円	1億3,300万円	500万円
後期高齢者医療	6億7,500万円	6億6,000万円	1,500万円
介護保険	42億6,000万円	42億2,400万円	3,600万円
介護サービス	2億3,400万円	2億2,600万円	800万円
個別排水処理施設整備	3,200万円	3,200万円	0円
土地取得	100万円	100万円	0円
特定環境保全公共下水道	1億5,400万円	1億5,400万円	0円

平成26年度 企業会計の決算

水道事業会計	収入額	支出額	収入支出差引額
収益的収支	22億1,500万円	28億1,000万円	△5億9,500万円
資本的収支	3億9,900万円	8億8,000万円	△4億8,100万円

公共下水道事業会計	収入額	支出額	収入支出差引額
収益的収支	13億9,000万円	13億4,700万円	4,300万円
資本的収支	6億8,100万円	11億4,900万円	△4億6,800万円

※収益的収支：企業の経営活動のための収支／資本的収支：施設整備や建設改良のための収支

平成26年度 健全化判断比率について

前年に引き続き
早期健全化基準
をクリア

実質公債費比率と将来負担比率は前年より改善し、実質公債費比率に関しては全道平均を下回りました。

指標	石狩市の健全化判断比率 ()は前年数値	早期健全化基準 (イエローカード)	再生基準 (レッドカード)	全道平均	順位※ (全道35市中)
実質赤字比率	該当なし(該当なし)	12.70%	20%	—	—
連結実質赤字比率	該当なし(該当なし)	17.70%	30%	—	—
実質公債費比率	8.5% (9.8%)	25%	35%	9.2%	10位
将来負担比率	93.3% (106.5%)	350%	—	62.2%	21位

※順位は全道35市のうち比率の低い市から数えた順位です

平成27年度 予算の上半期執行状況

◎一般会計

歳入歳出予算額	執行率(歳入)	執行率(歳出)
295億841万円	44.8%	45.1%

◎企業会計

区分	収益的収支		資本的収支	
	収入額	支出額	収入額	支出額
水道	8億913万円	4億4,050万円	5,714万円	3億1,287万円
公共下水道	5億3,312万円	2億3,307万円	1億2,028万円	3億7,908万円

◎特別会計

区分	歳入歳出予算額	執行率(歳入)	執行率(歳出)
国民健康保険	95億7,903万円	36.6%	44.9%
国民健康保険診療所	1億4,212万円	62.8%	41.8%
後期高齢者医療	6億8,768万円	37.4%	33.4%
介護保険	43億6,088万円	42.5%	40.7%
介護サービス	2億1,058万円	48.8%	41.4%
個別排水処理施設整備	6,114万円	26.7%	28.0%
土地取得	129万円	70.4%	46.3%
特定環境保全公共下水道	1億4,407万円	58.9%	44.5%